

タイの投資形態 (BOI (タイ国投資委員会)) その3



今回は、BOI (タイ国投資委員会) の投資奨励申請書作成について説明します。
まず、前回に引き続き、最新のBOI申請状況を紹介します。

<2013年1月～5月までの申請状況>

- ◆投資申請件数：919件
- ◆投資総額：5,648億バーツ(約1兆7,000億円)
- ◆件数：前年同期比18%増
- ◆金額：前年同期比70%増
- ◆投資分野：以下のとおり(投資額の多い順)

① 公共施設、サービス等

215件/2,601億バーツ(約7,800億円)

主な内訳

- ・航空輸送 15件/1,600億バーツ(4,800億円)
- ・天然ガス 2件/340億バーツ(1,020億円)
- ・液化天然ガスターミナル 5件/210億バーツ(630億円)
- ・工業団地造成 5件/91億バーツ(270億円) など

② 自動車、機械、金型、金属製品等

196件/1,361億バーツ(約4,080億円)

③ 缶詰・冷凍食品、ジュース、ゴム加工パーム油、飼料、飼育業等

237件/919億バーツ(約2,760億円)

※出典：2013年6月21日付 タイ時事通信

今後も引き続き投資案件は増える見込みです。上記に挙げた投資案件は投資金額が比較的大きい分野ですが、電子・電気産業は投資が減少し、タイ国内での販売と輸出が好調な洗濯機、冷蔵庫、エアコンなど家電生産分野は投資が拡大すると予測されています。しかし、衣服生産などの労働集約型の軽工業は、タイ国内の賃金上昇、また労働不足も一部で深刻な状態が続いていることなどから、近隣国に生産拠点を移転する企業も多く、この分野の投資は減少傾向にあります。



ここからは、現行のBOIの投資奨励申請書作成について説明します。

申請書の提出

申請書は、英語とタイ語が併記（表と裏）されていますので、外国人の場合には、英語の申請書で提出が可能です。許可取得には半年程度かかる場合が多く、タイで法人登記が完了していない場合は個人名で申請をすることになっています。また、申請時は、タイに在住していない可能性も高く、その場合は、タイ国内で連絡が取れる人物の記入が必要です。なお、BOI事務局は、バンコク本部、地方事務所（7ヶ所）及び日本を含む海外事務所を構えており、申請書提出は、どこの事務所でも可能ですので、タイへの出張時期とタイミングが合わない場合は、東京事務所への申請で問題はありません。

申請書には、以下の記入が必要になります。

1. 申請者名（貸借対照表）

企業名ではなく、個人名での申請になりますが、実際は、会社の手続きであり、資産、負債など財務的な情報の記入が必要です。

2. 資金調達

登録資本金、株主リスト、ローン及びクレジットの調達先などの記入が必要です。

3. 投資

建設費、機械費、設置費、試運転費、操業前費用、土地代、技術料、運転資金などの記入が必要です。

4. プロジェクトの詳細

生産能力、3年間の生産計画、生産工程、使用機械、生産品の使用目的や写真、カタログなどの資料、環境保護計画などの記入が必要です。生産工程については、投資奨励が許可された後も、その生産工程どおりに業務を行う義務があり、材料の入荷から、製品の検品、出荷まで細かく記入します。また、機械・設備については、この生産工程で必要なものが許可され、生産工程と機械・設備が申請どおりでなければならず注意が必要です。

5. 原材料及び必要資材

タイ国内での調達、海外からの輸入について、数量、金額等の3年間の計画の記入が必要です。

6. 人員計画

フル稼働時における雇用計画の記入が必要です。

7. 市場

国内市場、海外輸出割合、主な顧客名・国名などの記入が必要です。

8. 費用および利益

3年間の製造コスト、工場出荷価格及び利益の予測（操業3年目）の記入が必要です。

9. 面談

申請後、10日以内に面談を受ける必要があります。

申請書記入の準備期間は1ヶ月から2ヶ月程度必要になることが多く、特に多くの時間を費やすのは生産工程の項目になります。この工程はBOIの恩恵を受けるため細かく記入する必要があり、申請許可、不許可の判断材料になる重要な項目です。この項目を“適切に”かつ“わかりやすく”判断してもらうために、工程の写真や図など視覚的にわかりやすい

絵を工程順に掲載したり、補足事項や注意事項などがある場合は図の中に直接記入するなどして、担当官により伝わりやすい資料作りを心掛けることが大切です。また、最終製品が小さく持ち運びが容易に可能な場合は、面談時などにサンプル品を持参することにより、担当官の理解が深まり有効な手段になることもあります。

次回も引き続き、申請書作成の詳細を説明します。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町 1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm.A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak
Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳 (ふくだ じゅん)

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課マーケティング推進室
(086-226-7365)へご相談ください。